

## 生田地区少年野球大会 試合規則

### 1 使用球

大会本部で用意したナガセケンコーボールJ号とする。

### 2 塁間及び本投間

塁間距離は23.00m、本投間距離は16.00mとする。

### 3 試合ベンチ

組合せ番号の小さいチームを1塁側ベンチとする。また、ベンチに入れる人員は、選手20名以内と代表者1名、監督1名、コーチ2名、記録係1名、マネージャー1名の合計26名以内とする。

### 4 試合時間及びイニング

試合は6回戦とする。ただし、1時間30分を過ぎた場合は新しいイニングに入らない。延長戦は1時間30分以内で9回までとし、その時点で同点の場合、準決勝までは抽選、決勝は特別ルールを適用する。

**特別ルール：**各チーム9人が抽選くじを引き、○の数が多いチームを勝ちとする。

### 5 シートノック

なしとする。

### 6 コールドゲーム

3回以降10点差とし5回以降は7点差とする。ただし、決勝戦は、5回以降7点差とする。

### 7 ノーゲーム

雨天等により試合続行不可能となったとき、3回終了前の場合はノーゲームとし、再試合を行う。この場合他の試合予定日時を順次繰り延べることもある。

### 8 投手の投球制限

投手の投球については、肘、肩の障害防止を考慮し、1人の投手は一日70球以内を投球できる。なお、試合中に70球に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。

\*一日でダブルヘッダーを行う場合も一投手70球以内とする。

### 9 試合中の抗議

試合中、審判に異議を申し立てることは原則的に禁ずる。ただし、ルール上の説明を求める場合は監督が行う。

## 10 ファールボール（場外ボール）の処理

一塁側に止まったものは、一塁側が拾う。三塁側に止まったものは、三塁側が拾う。捕手の後方のものは、攻撃側が拾う。

## 11 ベース

塁は固定式及び移動式を併用する。ベースは固定しないで元の位置に触れていけばよい。また、移動したベースに触れていてもよいこととする。

## 12 服装及び用具

- (1) 服装は野球用ユニフォームもしくはそれに準ずる服装とする。
- (2) 背番号は、選手は0～99番以内、キャプテンは10番、コーチは28・29番、監督は30番とする。
- (3) 選手はヘルメット着用のこと。また、捕手はプロテクター、マスク、ヘルメット、ファウルカップ及びレガース着用のこと。
- (4) 金具付スパイクの使用を禁止とする。ただし、少年野球場においては、ポイントスパイクを使用できる。また、小学校及び中学校の校庭においては、ポイントスパイクの使用も禁止とし、運動靴を着用する。
- (5) チームで使用する用具は、そのチームで用意すること。

## 13 グラウンドルール

試合会場特有の「グラウンドルール」を別紙のとおり定める。

## 14 失格

- (1) 前の試合の4回までにメンバー表の提出をしない場合、または、前の試合の終了後10分を経過しても指定の場所にチーム全員が理由なく到着しない場合は、棄権したものとみなし、相手チームを勝者とする。
- (2) 参加資格要件に違反した場合は、直ちに失格とし、相手チームを勝者とする。
- (3) 監督、コーチ又はその代理等、チーム責任者が理由なく試合に出席しなかった場合は、失格となることがある。

## 15 規律の確保

試合は礼儀正しい態度でのぞみ、審判員の指示に従わない選手またはチーム関係者に対し、退場を命ずる場合がある。

## 16 その他

- (1) ボークは採用する。
- (2) コーチボックスには、選手（ヘルメット着用）が立ちコーチする。
- (3) 投手が変化球を投げることは、禁止する。
- (4) タイムは、審判員が認めたときに成立する。

## グラウンドルール

生田地区スポーツ活動振興会 第69回生田地区少年野球大会で使用する次の球場（会場）の「特別ルール」を次のとおり定める。

### 南生田小学校

- 1 ホームをプール側に設置する。
- 2 ライト方向のフェア地域内の樹木に飛球が当たった場合は、インプレイとする。但し、その飛球を地面に落下する前に捕球してもアウトにはならない。  
また、前記飛球がそのままファールラインの外側に出てもインプレイであるが、場外の区域（白線で表示）に出た場合はツーベースとする。
- 3 レフト方向への打球（飛球）については白線を越えた場合ホームランとし、ゴロで越えた場合はツーベースとする。

多摩少年野球連盟で使用している次の球場については連盟の「特別ルール」を準用する。

### 三田球場

- 1 ライト方向ファールラインから内側（フェア地域内）の樹木の枝に飛球が当たった場合は、上記の「特別ルール」南生田小学校特別ルール2と同じとする。
- 2 打球がノーバウンドで場外の区域に出た場合はホームランとする。また、打球がノーバウンドでフェア地域内の樹木の枝に当たった場合、当該枝がなければ場外の区域まで飛んだであろうと直近の審判員が認めた場合もホームランとする。
- 3 打球が、センターの階段ネットをノーバウンドで越えた場合、または場外の区域に出た場合は、ホームランとする。よって、階段ネット付近の樹木の枝にあたった場合の判定は、前記1・2と同じであると解する。
- 4 レフト方向については、打球がノーバウンドで場外の区域（オレンジネット）に出た場合ホームランとする。
- 5 打球がフェア地域内の樹木の根本付近、又はセンターの階段ネット等にあたってフェア地域内に跳ね返った場合はインプレイである。
- 6 いずれの場合でも、打球がゴロで場外の区域に出た場合は、ツーベースとする。

### 南生田球場

- 1 レフト方向への打球（飛球）については、三田球場特別ルールの1と同様に解するが、テニスコート側縁石及び縁石を外野ネット方向へ直線に見通した線より外（場外）に出た場合は、ツーベースとする。
- 2 レフト方向の飛球がフェア地域内に伸びている樹木の枝の先端付近に当たり、そのまま外野ネットに表示されているホームラン線より上部（ホームラン線も含む）に当たった場合はホームランとする。しかし、この場合でも前記飛球がファールラインより外側に飛び出し、ネットに当たった場合は、単にファールボールとなる。
- 3 飛球が一塁側樹木の枝に当たった場合は、その時点でファールボールとする。